

平野(東京)4度目の女王

プレーオフ、加藤(那須塩原)を下す

知事盃ゴルフ

クイーンズの部

第60回県知事盃争奪ゴルフ競技大会(県ゴルフ連盟、県ゴルフ場協議会、下野新聞社主催)は19日、鹿沼72CC筑波コース(5501ヤ、パー72)でクイーンズの部決勝が行われ、平野いずみ(東京)がプレーオフ(P.O.)で加藤仁美(那須塩原)を下し、4度目の優勝を飾った。

加藤はアウトを35で単独2位。インは15番パー4でダブルボギーをたたいたものの踏ん張って38にまとめ、1オーバー73で2人が並び2年ぶりのP.O.に突入。3ホール目、アプローチミスでボギーの加藤に対し、平野はパーにまとめ、初優勝を狙った鈴木郁子(高根沢)は4オーバーの76で3位。連覇を狙った林美由樹(宇都宮)は8位、7度目の優勝を目指した角田里子(同)は11位に終わった。

「後悔ない」とさっぱり
「プレーオフ(P.O.)にもつれる接戦を落とし、頂点を逃した加藤仁美(那須塩原)は「後悔はない。楽しかった」と、さっぱりしていた。

本戦は「インが難しかった」と1オーバー。P.O.はパー4の3ホール目、第2打がグリーンを越えて小さくぼみへ入り「運がなかった」。次のアプローチで寄せ切れなかった。4日のミッドクイーンズの部で優勝。角田里子(宇都宮)以来、史上2人目の1デーでは勝てない。年間2冠はならずも、最後でもアプローチ、パットと寄せ寄せて頑張った。



鈴木郁子



加藤仁美

【クイーンズの部決勝大会】

1	平野いずみ	73	(33)	40
2	加藤仁美	73	(35)	38
3	鈴木郁子	77	(37)	40
4	角田里子	77	(38)	41
5	林美由樹	78	(41)	38
6	山崎由美	78	(41)	38
7	山崎由美	78	(41)	38
8	山崎由美	78	(41)	38
9	山崎由美	78	(41)	38
10	山崎由美	78	(41)	38
11	山崎由美	78	(41)	38
12	山崎由美	78	(41)	38
13	山崎由美	78	(41)	38
14	山崎由美	78	(41)	38
15	山崎由美	78	(41)	38
16	山崎由美	78	(41)	38
17	山崎由美	78	(41)	38

※同スコア順位は大会規定による。



加藤をプレーオフで下し4度目の優勝を飾った平野(右) 鹿沼72CC

絶妙チップイン、初の33 平野

クイーンズの部で3年ぶり4度目の頂点に立った平野いずみ(東京)。表彰式の優勝スピーチでは「久しぶりの優勝。それも人生初のハーフ33。うれしい」と満面の笑みを見せた。アウトは3バーディー。そのうち二つは56度のウェッジを使ってのチップインだった。9番パー4は40ヤをランで鮮やかに決め「あれは大きかった」とハイライトに挙げた。

66歳の現役看護師。36歳で始めた剣道は12年で四段まで腕を上げた。43歳で夫を亡くし「他に何か打ち込めるもの」とゴルフを始め「のめり込んだ」。看護師長の務めを終え、パート勤務になり「練習時間をつくった」という。

南摩城CC、サンヒルズCCのメンバーで、本県の大会に顔を出すことが多い。「全国レベルの角田里子さん、鈴木郁子さんなどがあるので、目標になる」

60歳以上のミッドクイーンズの部は新設された2018年から3連覇し、知事盃は七つ目。九つの角田に迫る勢だが「角田さんは雲の上の存在。とても太刀打ちできる位置にいない」と謙遜する。「年だからクイーンズは勝てないと思っていましたが、まさかまさかの優勝。引退も考えたが、もう少し頑張ってみようか」と笑った。(井上孝男)

大の里、琴桜1差キープ

十両 三田6連勝、首位並走

大相撲

6日目

プロの横綱豊昇龍は王鵬を下し手投げで退け、全勝を守った。横綱大の里は熱海富士を寄り切り、大関琴桜は平戸海を小手投げで下し、と

敗。大関昇進を目指す若隆景は豪ノ山を突き落とししたが、霧島は玉鷲に突き出された。小結対決は新三役の安青錦が高安を寄り切った。

8人。	中入り後
獅司	よりきり
三田	おしだし
日翔志	はたきこみ
朝紅龍	すくいなげ
友風	はたきこみ
翔猿	うわてなげ
御嶽海	おしたおし
美ノ海	よりたおし
正代	ひきおとし
狼雅	うわてなげ
宇良	すくいなげ
隆の勝	おしたおし
欧勝馬	はたきこみ
若元春	よりたおし
伯松	よりきり

琴桜	こてなげ	平戸海	朝翠龍	よりきり	剣翔
大の里	よりきり	熱海富士	羽出山	つきたし	嘉陽
豊昇龍	したてなげ	王鵬	荒鷲山	おしだし	東白龍
朝乃山	よりきり	宝富士	折大海	おしだし	英乃海
紫雷	よりきり	風貫史	藤青雲	したてなげ	千代翔
西ノ龍	つきおとし	白鷹山	琴栄峰	おしだし	大青山
宮乃風	つきおとし	旭海雄	錦富士	おしだし	輝
朝白龍	よりきり	白熊	欧勝海	よりきり	

●阿炎(6連敗)「ずっとふわっとしている。体中してはいた。また明日もしつかりと集中して相撲を取らなければよかった」

●若隆景(土俵際の突き落としで2敗堅持)「集まらなかつた。また明日もしつかりと集中して相撲を取らなければよかった」

【十両】	西4	(大田原)	二子山	6-0
【幕下】	西3	(宇都宮)	常盤山	2-1
【三役目】	西8	(さくら)	二子山	2-0
【序二段】	西22	(那須烏山)	浦山	0-0
【序二段】	西25	(大田原)	山山	2-2
【序二段】	西39	(大田原)	山山	2-2
【序二段】	西58	(大田原)	山山	2-2
【序二段】	西64	(小川)	荒出	1-2
【序二段】	西71	(上三川)	羽海	2-1
【序二段】	東51	(大田原)	二子山	1-2
【序二段】	西57	(矢板)	九重秀	1-0
【序二段】	西59	(大田原)	九式	1-0

【幕下】	西13	(大田原)	立山	0-3
【幕下】	西26	(水)	洗ば	2-3
【幕下】	西52	(水)	洗ば	2-3
【幕下】	西54	(水)	洗ば	2-3
【幕下】	東44	(前高)	朝日	1-2
【幕下】	東58	(前高)	朝日	1-2
【幕下】	西80	(前高)	朝日	1-2
【幕下】	東5	(笠)	藤島	2-1

金谷 ANA (19日) 秋

初の海外レースへ抱負



セーリング日本代表 樋口が知事 オマーンで10月25日から開かれるセーリングのオプティミストアジア・オセアニア選手権に、日本代表として初出場する西那須野中2年の樋口が、19日、県庁を訪れ福田富一知事に出席を報告し抱負を語った。

自転車競技の本県選手団発表

国スポ会期前競技 県スポ協会は国民スポーツ大会「わたしのSHIGA輝く国スポ」で21日から行われる会期前競技(2回目)の自転車競技に出場する本県選手団を発表した。

男子で今夏の全日本大学選手権ケイリン、1キライムトライアルで準優勝の町田颯(日大)、全国高校総体ケイリン準優勝の海老原陵大(作新学院高)らが終選考会で8位に入り、同

出場する。【男子】▽監督 山本宏恒、小口達矢(作新高教)▽選手 町田颯、郡司夕磯(日大)、佐藤旭(白幡)、海老原陵大、山田歩舞、八木、鈴木結愛、重幡勇世(作新高教)、新沼杏菜(白幡)、Sufoc、鈴木結愛

郷土文化の成績